

指宿市定住自立圏構想

圏域全体として必要な生活機能を確保するため、
中心地域と連携地域が相互に役割分担し連携協力する

今後確実に進む人口減少社会を迎える中、安心して暮らせる
まちづくりのため「医療」、「交通」のネットワークを強化する
必要がある

事業展開を協議する場として、圏域共生ビジョン懇談会を設置する

指宿市定住自立圏構想 集約とネットワーク

中心地域である指宿地域は、産業や商業、娯楽施設、中核的な医療機能、各種サービスの提供など都市機能に一定の集約がある。

これらの機能は、圏域全体の暮らしを支え、地域の魅力の向上につながる。

連携地域は、指宿市の都市機能を活用しながら、生活機能や農林水産業、自然環境などを確保する。

そのため指宿地域は圏域全体を取りまとめながら連携地域と連携する必要がある。

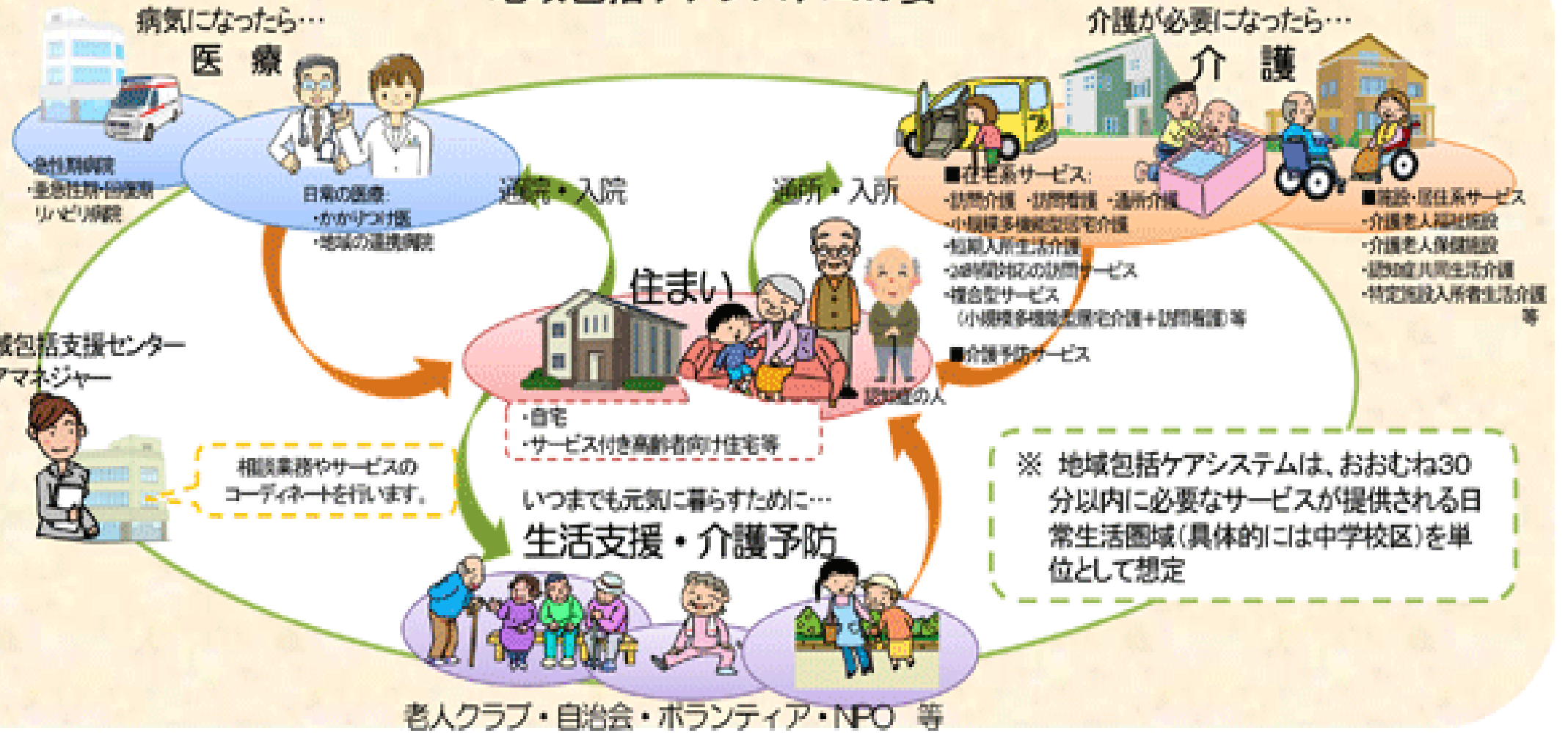
指宿市定住自立圏構想

指宿市における都市機能の集積状況

【医療】

地域医療支援病院			(指宿医療センター)
鹿児島県がん診療指定病院			(指宿医療センター)
救急告示医療機関			
九州大学地域医療学講座(産科分野)			(指宿医療センター)
輪番・在宅当番事業			
医療連携	(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)		
地域医療構想	(高度急性期、急性期、回復期、慢性期病床)		
うつ病ネットワーク			
一般病床	5	医療機関	419 床
慢性期病床	10	医療機関	696 床

地域包括ケアシステムの姿



老人クラブ・自治会・ボランティア・NPO 等

指宿市定住自立圏構想

集約とネットワーク構築のために何が必要か？
どうすればよいか？

要介護状態となった高齢者をケアするためのネットワーク
いわゆる「地域包括ケアネットワーク」について

指宿市定住自立圏構想

通所介護

施設介護

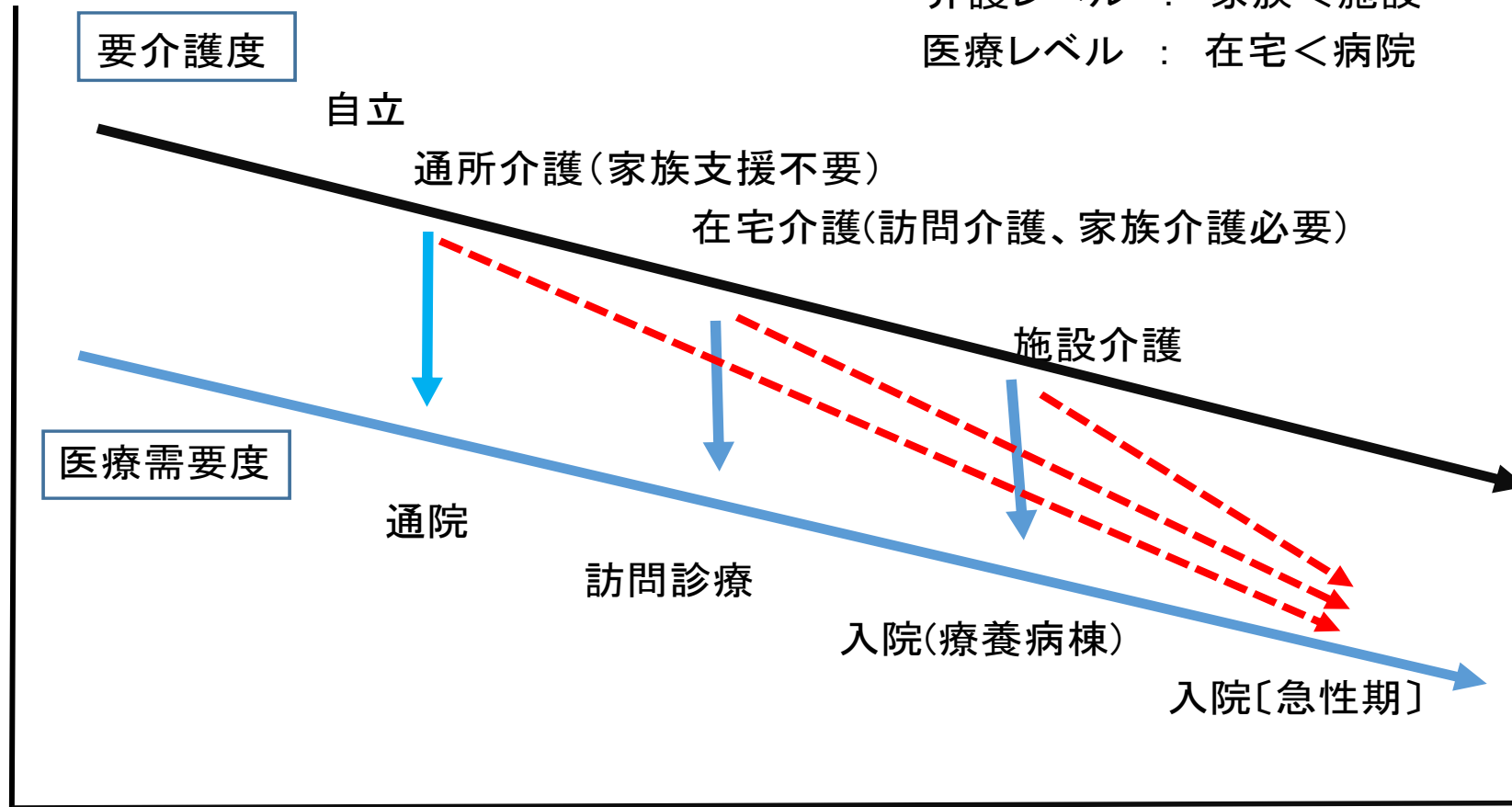
在宅介護

医療需要度、要介護度、家族介護状況、
それぞれの状況でどのサービスを利用するか選択される

指宿市定住自立圏構想

介護レベル : 家族 < 施設

医療レベル : 在宅 < 病院



自宅



デイケア

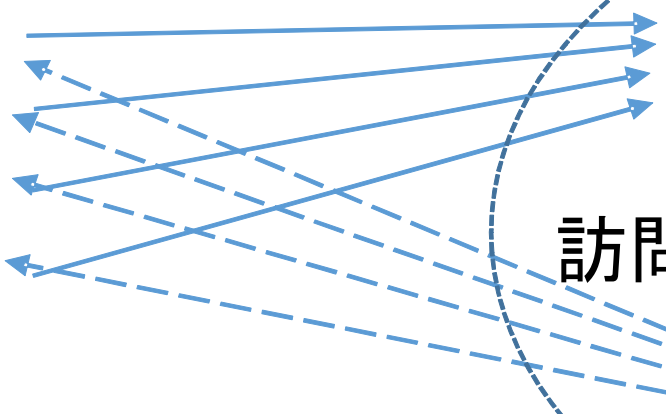
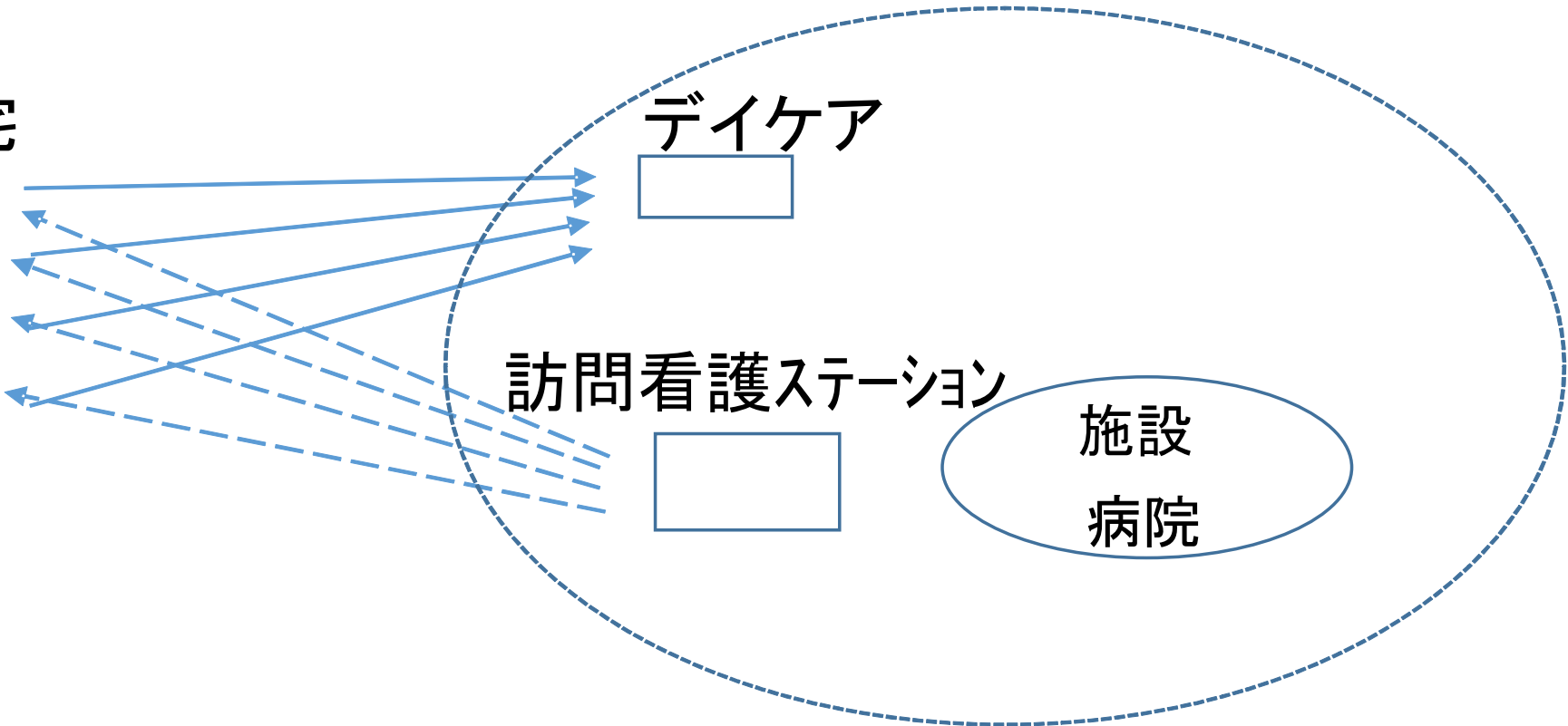


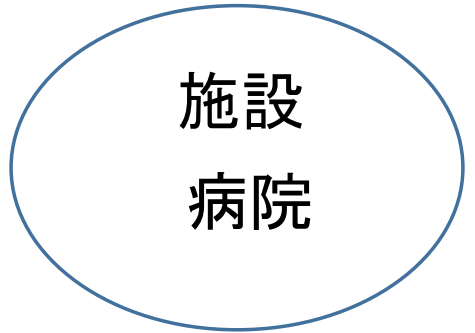
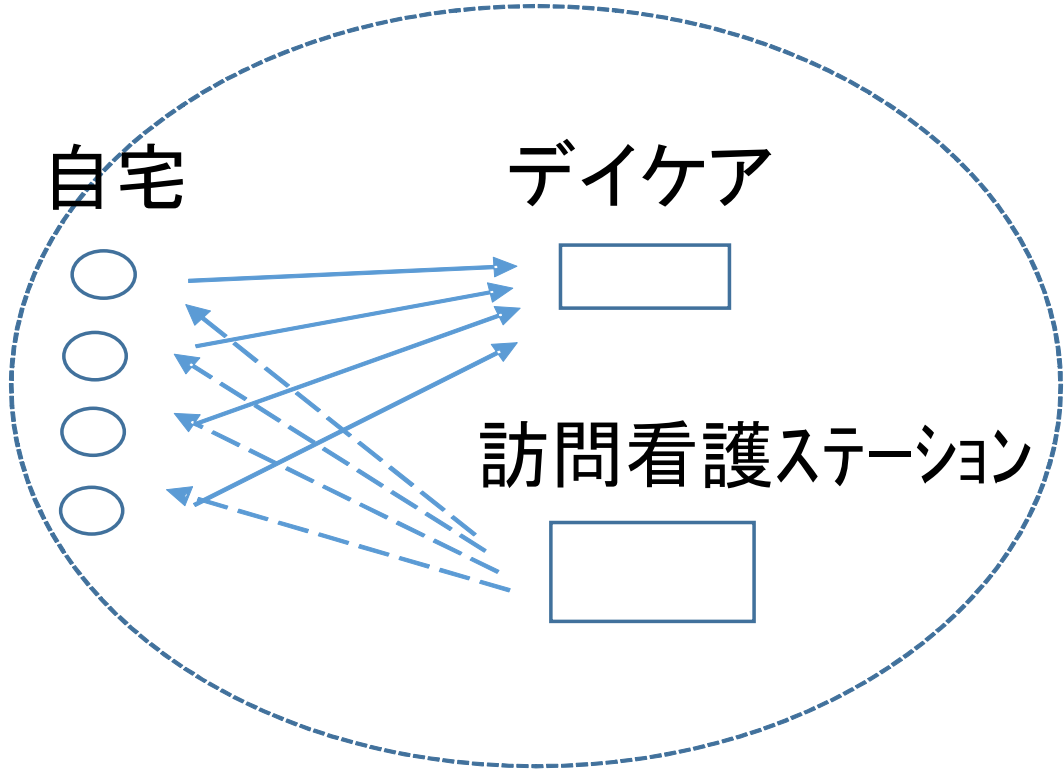
訪問看護ステーション

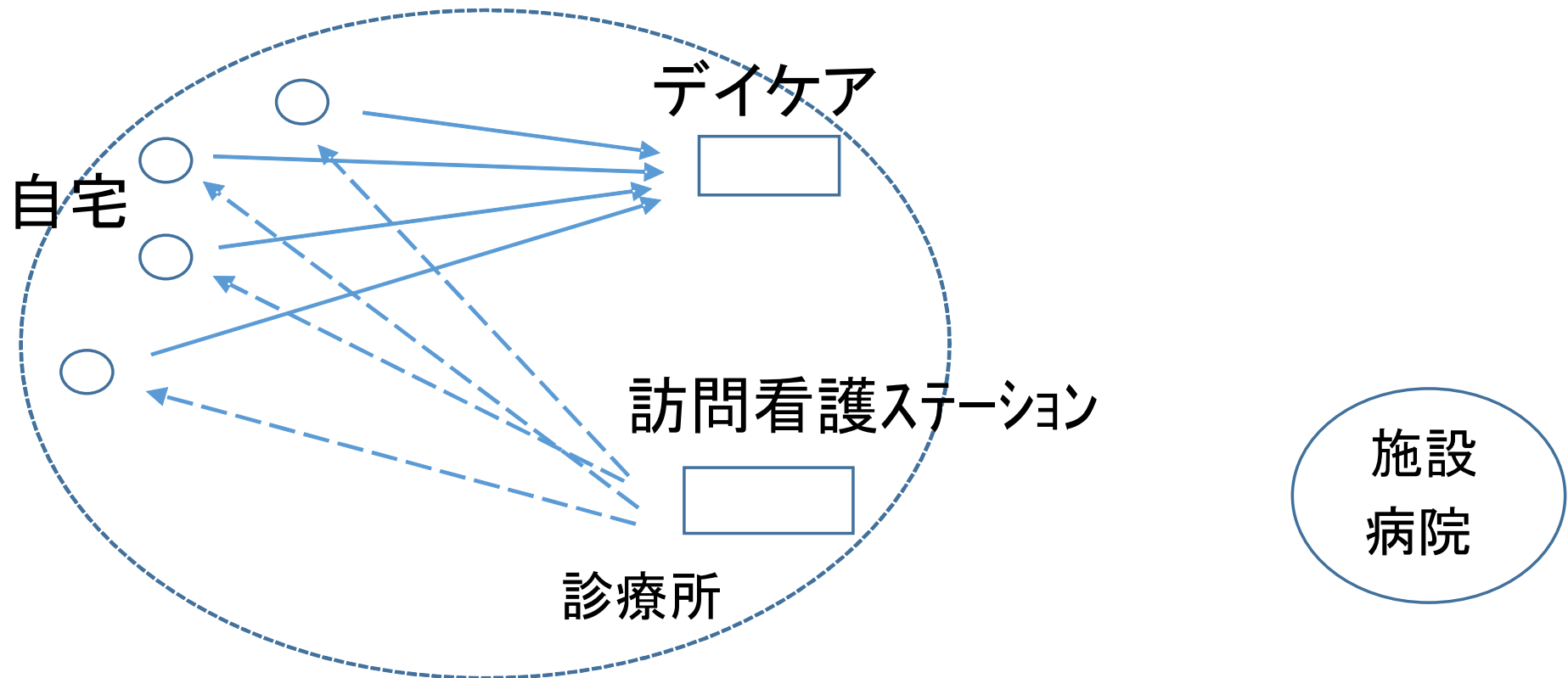


施設

病院







エリアの中での在宅介護は、距離の問題が大きい。
医療のレベルは、距離にも左右される。効率も悪く、重い負担となる。

自宅



デイケア

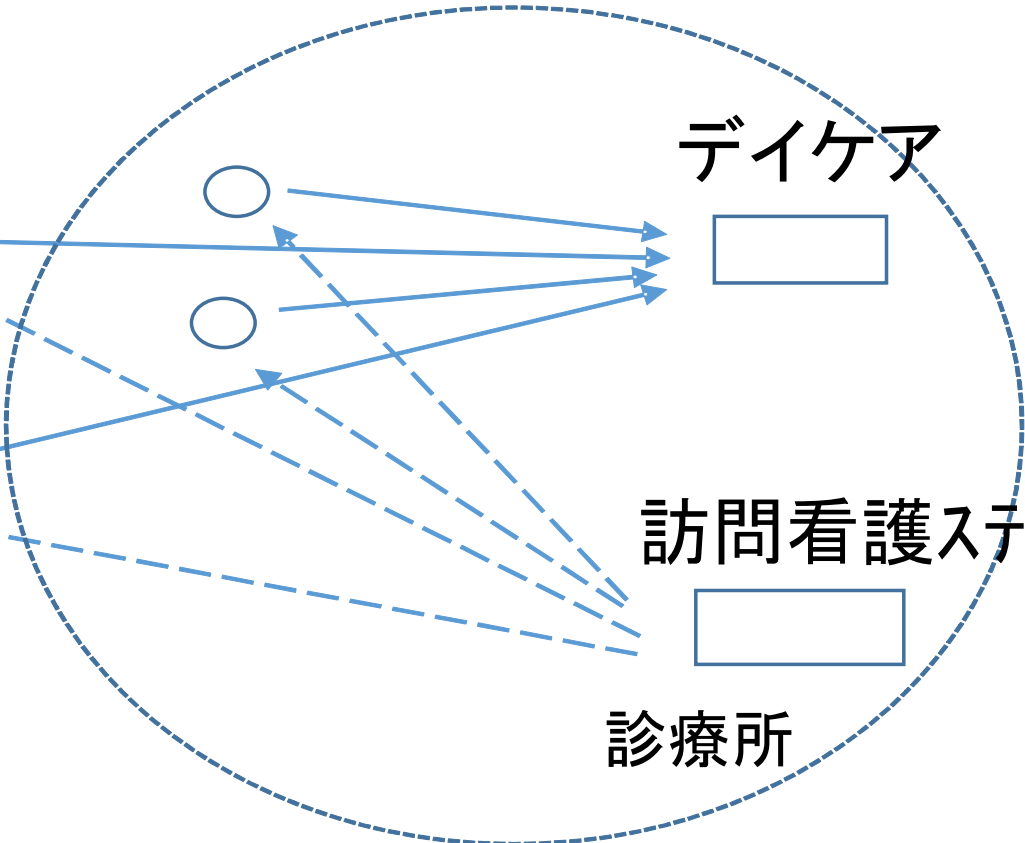


訪問看護ステーション

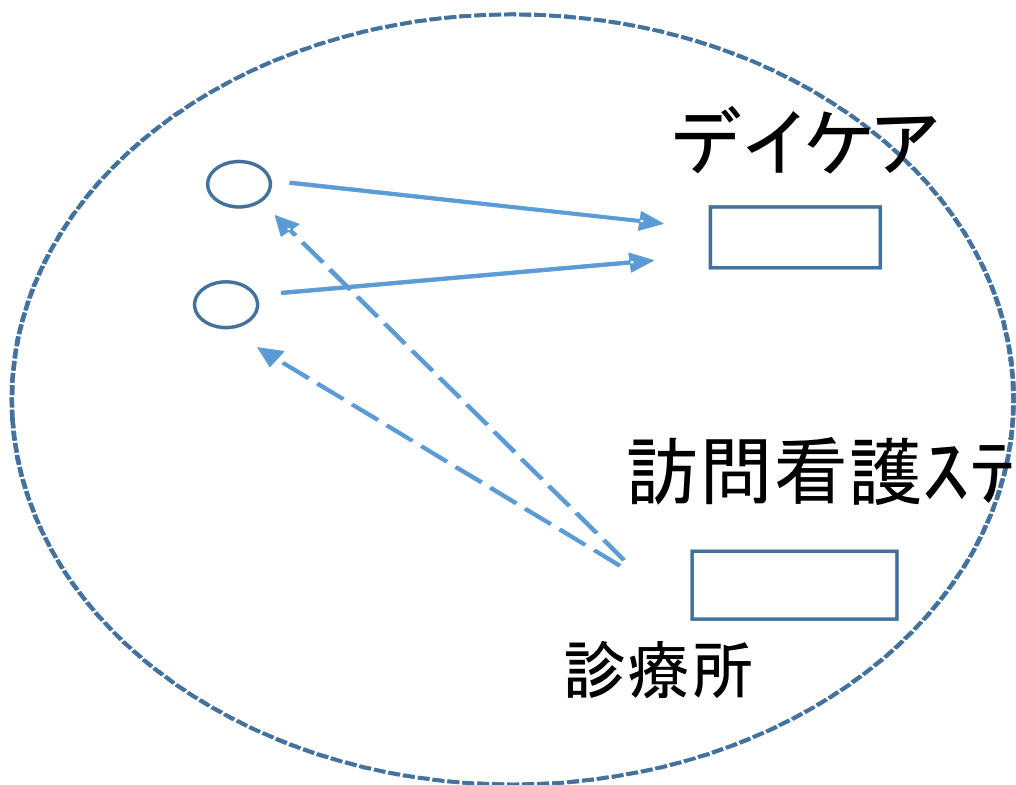


診療所

施設
病院



自宅



デイケア



訪問看護ステーション

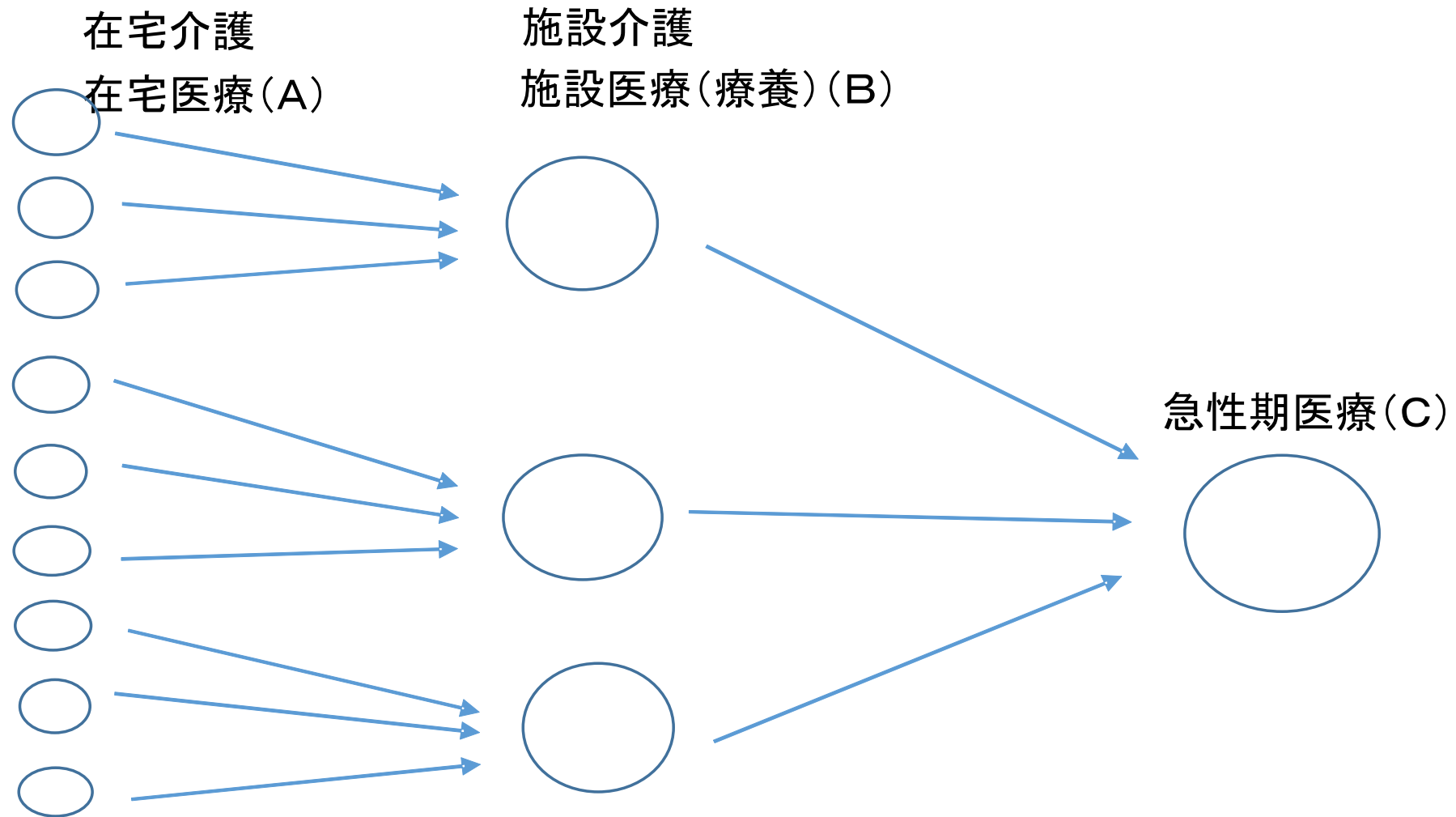


診療所

施設
病院

新類型施設





定住自立圏との係り

連携地域は、(A) または (B) で、それぞれ地域内で連携し完結する。

各連携地域内で発生した急性期患者は、中心地域にある(C)を利用する。

(C) の必要病床数を、指宿市内に確保する。

(A)と(C) あるいは (B) と(C) との連携を確立することが必要

夜間・休日対応の有無

鹿児島県全体 76.0%

鹿児島医療圏	73.8%
<u>南薩医療圏</u>	<u>90.0%</u>
川薩医療圏	57.1%
出水医療圏	72.7%
始良・伊佐医療圏	83.3%
曾於医療圏	100.0%
肝付医療圏	82.3%
熊毛医療圏	100.0%
奄美医療圏	76.5%

在宅療養支援病院

鹿児島県全体 …… 37機関

鹿児島医療圏	……………	17	
南薩医療圏	……………	3	(指宿市 1)
川薩医療圏	……………	2	
出水医療圏	……………	1	
始良・伊佐医療圏	……………	6	
曾於医療圏	……………	0	
肝付医療圏	……………	2	
熊毛医療圏	……………	1	
奄美医療圏	……………	5	

在宅療養支援診療所

鹿児島県全体 …… 282機関

鹿児島医療圏	……………	96
南薩医療圏	……………	<u>20</u> (指宿市 8)
川薩医療圏	……………	30
出水医療圏	……………	19
始良・伊佐医療圏	……………	51
曾於医療圏	……………	8
肝付医療圏	……………	30
熊毛医療圏	……………	5
奄美医療圏	……………	23

DPC病院（急性期病院）

鹿児島県

42医療機関

南薩医療圏

4医療機関

指宿市

独立行政法人 指宿医療センター

療養病床

鹿児島県

121,315 件

南薩医療圏

22,188 件

指宿市

9 医療機関 576 床

介護療養型医療施設

鹿児島県	49医療機関	998床
南薩医療圏	5医療機関	52床
指宿市	1医療機関	16床

介護老人福祉施設(特養)

鹿児島県

159 施設

南薩医療圏

17 施設

指宿市

3 施設

介護老人保健施設

鹿児島県 89 施設

南薩医療圏 10 施設

指宿市 3 施設

訪問看護ステーション

鹿児島県 129 事業所

南薩医療圏 10 事業所

指宿市 2 事業所

在宅医療
在宅訪問診療

2015 年

2025 年

鹿児島県

147,761 件

175,649 件

南薩医療圏

8,128 件

8,632 件

在宅医療を推進する上で支障となるもの

1. 患者のいる場所までのアクセスの問題
2. 協力してくれる看護師等のスタッフの確保の問題
3. 急変時の受け入れ体制
4. 外来診療が多忙で在宅患者までマンパワーが確保できない

在宅医療を行うために必要と思われる支援

1. 介護や周辺医療の関係機関との連携（相談窓口）
2. 介護と医療機関をつなぐ情報共有システムの導入
3. 医療機関における退院相談窓口の強化
4. 住民からの相談窓口の設置

地域医療の全般的な問題

1. 在宅医療を担う医師が不足している
2. 休日・夜間に対応可能な医療機関の不足
3. 開業医の高齢化、将来の医療供給体制の不足
4. 訪問看護ステーションが不足している

今後10年後を見据えて果たしていく診療機能

1. 行政や地域包括支援センター、介護事業者や施設との連携に力をいれる
2. 他の病院や診療所との連携に力を入れる
3. (更なる) 在宅医療の推進
4. (更なる) 認知症対応を推進